

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名		No.3		調査位置				北緯		36° 29' 27.0960"	
発注機関		栃木県宇都宮土木事務所		調査期間		2008-10-03 ~ 2008-10-07		東経		139° 52' 47.3480"	
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
ボーリング責任者				ハンマー落下用具				ポンプ			
孔口標高		82.98 m		角				方向			
地盤勾配		鉛直 0° 0.00°		使用機種		試錐機		エンジン			
総掘進長		5.45 m									

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内掘進
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値			
(m)	(m)	(m)	(m)							測定月日							
				シルト	黒褐			軟らかい (表土) -0.5m下部断水多い粘土質帯びる		10/04 10/06 10/08 10/10 10/12							
1	82.38	0.60	0.60	粘土混り砂礫	灰茶褐	中くらい		φ15-40mmの垂円・垂角礫主体マトリックスは火山灰質の粘土で緩い状態		10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	1.15	7	7	4	18	30	18
2	81.68	0.70	1.30	砂礫				φ20-60mmの垂円・垂角礫主体、マトリックスは細砂-粗砂2.8m付近よりコア長70mmの玉石混入以深は含水分、ルーズで崩れ易い礫種は上部チャート、下部安山岩が目立つ3.6m付近局部的に粘土分の混入多い4.2m付近よりコア長150mmの玉石含む		10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	1.45	8	9	11	28	30	28
3					灰褐	密な				10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	2.15						
4										10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	2.45						
5	78.48	3.20	4.50	砂礫	茶褐	密な		φ15-40mm垂円礫主体風化礫混入多いマトリックスは細砂-粗砂、粘土分混じる含水分多く飽和すると自立性低下		10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	3.15	36	14	6	50	16	>50
	77.53	0.95	5.45							10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	3.31						
										10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	4.15	40	10	6	50	16	>50
										10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	4.31						
										10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	5.15						
										10/04 10/06 10/08 10/10 10/12	5.45	11	13	13	37	30	37